



幸樹

こう じゅ

第 68 号

2020 年 11 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵 井上 忠司 愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、10年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者でした。

さんしょう 運動会

10月20日、5回目の運動会が、さんしょうご利用者17名と職員で開催されました。新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小し、感染予防に配慮して実施されました。

運動会といえば、まずはお弁当！今年も職員が真心を込め、おにぎりを作り、おかずもたくさん。運動会開始前より満足した笑顔を見ることができました。選手宣誓も今年は全員で行い、一致団結して競技に臨みました。競技は、三密を出来る限り避けながら、玉入れ・玉転がし・風船バレーの3種目を行いました。風

船バレーでは風船が突如割れてしまうというハプニングもありながらも、みんな一生懸命競技に参加され、笑顔で楽しまれていました。

表彰式では、「最も笑顔だったで賞」「盛り上げたで賞」等、素敵な表彰状とトロフィーが授与され、一番の笑顔が広がっていました。制限がある中でも、利用者さん、職員が「楽しかった」という時間を共有でき、充実した運動会となったと思います。（山本伸枝）



藤田勝久さんにお聞きしました

藤田勝久さん（83歳）は、栃木で生まれ、若いころは、茨城県の筑波山のふもとの真壁（現桜川市）で、紳士服の仕立ての仕事をしていました。

7歳年下の妻・節子さんとは、そのころご近所の方に紹介していただいて、お見合い。節子さんは、当時22歳でまだ若く、結婚なんて考えられなかったのですが、勝久さんのアタックと、近所の方からも、「紳士服の仕事をしていて、しっかりしているし、腕も良いから、絶対食いつぶぐれはないから！」と熱心に勧められ、だんだんと結婚の決意をしたそうです。

つくば万博の守衛制服を作成

結婚後は、節子さんが勤務していた会社で、腕を買われて引き抜かれ、川口に転勤し、雨具加工の仕事に就きました。

その後、松戸に転居、自分の工場を立ち上げ、パートさんも雇って、婦人物のコートなどの加工と、白衣や作業服などの作成販売をしていたそうです。松戸に移ってからも、元の会社が工場を建てた際には、「腕がよいから、現場の指導に来て欲しい」と頼まれ、泊りがけで、指導に行っていたそうです。勝久さんの腕の良さは、評判で、1985年のつくば万博の際は、守衛さんの制服も縫ったそうです。

緊急手術、そしてリハビリ

去年12月、急に歩けなくなり、救急車で入院、転移性脊髄腫瘍との診断で、「今、手術しないと助からない」と言われ、翌日に摘出術を行いました。突然の入院、しかも下半身が全く動かない状態で、動揺したそうですが、手術を決断し、その後、リハビリのため、しばらく入院しました。入院中は、節子さんが献身的に通って勝久さんを支えてくれたそうです。勝久さんも、節子さんの支えのもと、リハビリを頑張られました。去年の年末は、バタバタし通しで、ご本人もご家族も、もう自宅には帰ってこれないと思っていたそうです。現在は、リハビリを頑張り、自力で起き上がり、ベッドから車いすに移れるまでに回復しています。



藤田勝久さん（右）と節子さん（左）

デイサービスで人気のマスクも縫製

今は、デイサービスに行き、リハビリをすることが楽しみだそうです。デイサービスでも、手先が器用で、とても頼りにされていて、いろいろと頼まれているそうです。マスクもたくさん縫われていました。デイサービスの方でも、引っ張り綱だそうです。

「どこに行っても、良く世話を焼いてくれる人がいて、皆さんに感謝しています」と話される藤田さんご夫婦。一時期は、「離婚の危機」もあったそうですが、今は、勝久さんが飲みすぎないように、夫婦で仲良く半分こで、晩酌をしているそうです。

「妻には、本当に世話になったな。本当に感謝しているよ。みんなにもよくしてもらって、ここまで回復できて、今が一番幸せです」と笑顔で語る藤田さん。

お仕事をしている頃から、盆栽好きで、夜中に新聞紙を広げて、手入れを始めるほどだったそうです。また、庭に出て、植木を育てられると良いなと話されていました。

（聞き手 あんず訪問看護ステーション・村里 恵）

さんしょう 運動会 スナップ



ケア事例検討集会を開催

各事業所から7演題を発表



10月1日、2020年度幸樹会ケア事例検討集会（第3回）を開催しました。

今回発表された事例報告は次のとおりです。

①からたち薬局「病状悪化なく在宅生活を送るために一排便コントロール支援」発表者：櫻井美恵、②あんず訪問看護ステーション「独居で認知力低下のある利用者が住み慣れた自宅で過ごせるよう援助した一考察」発表者：板垣信子、③介護ショップからたち「疾病を抱え独居生活の方へ車いすや手すりを導入することにより、自宅での生活を続けることができていた一例」発表者：武井友恵、④あんず居宅支援事業所「本人の生活スタイルに寄り添いながら一人暮らしを支える事例」発表者：田中和世、⑤ケアステーションゆず「腰を痛めた男性の生活を維持するためのケアを考える」発表者：小島御国、⑥看護小規模多機能型居宅介護さんしょう「認知症があり、ストマ管理・インスリン注射が必要な方への支援ー看多機の機能を生かして」発表者：中村佐知、⑦リハビリテーション部門「寝たきり生活から活気が戻り外出が可能となった事例」発表者：周藤俊彦

2020年度の前半は、新型コロナウイルス感染対策でかつてない厳しい緊張状態の中で事業を進めることになりました。感染予防には徹底した対応をとりながら、医療・介護を必要としている方々に、いつも通りのケアをお届けすることに努力をしてきました。職員全員が協力して取り組んだ結果、皆様からの信頼度が増した半年だったように思います。また、病院は発熱外来やコロナ病棟を有した関係から、入院患者とは面会ができなくなり、施設等でも面会制限がされ、外部と遮断された状況にありました。その中で、在宅を望んで家に帰ってくる患者・利用者の皆さんが多くあり「最後まで住み慣れた自宅・地域で自分らしく暮らすことを支援する」という幸樹会の理念が、本当に必要とされていることが感じられる半年でもありました。各事業所の報告は、こうした状況を反映した事例報告

でした。

毎回、ひとつひとつの事例から教えられることがあります。それを共有し、次のケアに生かしていくことが、私たち自身の成長にもつながります。幸樹会ではケアも仕事も目標と計画を立てて実行していくことを大切にしています。なかなか足並みが揃わない時期もありましたが、回を重ねるごとに少しずつ身に付き、今回も「提出期限を守る」「ICF（国際生活機能分類）を使って整理する」などが守られました。職責者を中心に学習会でICFを学んできたことや、自己目標管理を全職員が取り組んでいること、ケアも仕事も目標・方針（計画）が大切であると考えていることが浸透してきた、と評価できると思います。新しい職員や職種が増えて、新しい風が吹いています。閉鎖的になりつつある社会へ、私たちからも協働と共生の風を起こしていきたいと思うとともに、日常的な事例検討を定着させ、より一層「良くするケア」の前進のために努力していきたいと思います。（中野三代子）

介護職

のこころ

ケアステーションゆず 介護職員・小島御国

突然ですが、皆さんは『最強のふたり』という映画をご存じでしょうか。実話を元にした物語で、頸髄損傷で首から下が不自由な富豪の男性フィリップと、その住み込みの介護人となる移民で貧困層の青年ドリスとの交流を描いた2011年公開のフランス映画です。

初めて鑑賞したのはまだ大学生の頃でしたが、最近また観る機会があり、介護者として改めて感じ入るところがあったので書かせていただきます。

『最強のふたり』に感動

障害・病気をもつ人としての面だけでなく、一人の人間として接する。介護に従事する者として普段から心がけていることではありますが、映画を鑑賞していて、私にはまだまだ未熟なところがあると痛感させられました。ドリスの介護はかなり破天荒な面があるので、そっくりそのまま自分の仕事に反映させるのはさすがに無理があります。しかし、相手が病人だからと必要以上に遠慮するのではなくその人の人間性に寄り添うドリスの姿は、介護従事者となった私には鮮烈に映り、初めて観た時以上に映画にめりこんでいました。自分は人に気を遣っているのではなく、病気や仕事に気を遣っているのではないかな？今一度省みなければならなかった次第です。とても素晴らしい映画なので、観たことがない人はぜひ鑑賞してみてください。もう観たという人も再度観ると新しい発見があるかもしれませんよ？



デンマーク便り...③⑩

ラスムッセン 京子

ヨーロッパでの新型コロナウイルス covid-19 感染増加は、再び深刻な事態になっています。デンマーク政府はEU諸国と足並みを揃え、感染拡大を抑制するために再び厳しい措置を講じます。現在の制限は1月2日まで延長され、いくつかの新しい制限を導入します。また、自宅での遠隔就業も再び奨励されます。

① 屋内でのマスク使用

10月29日から、ショップ、モール、青少年教育、文化的な場所など、公共のすべての場所の屋内ではマスクまたはバイザーを着用する必要があります。仕事場は対象外です。



② 22時以降のアルコールの販売の禁止

バーやレストランは22時以降閉店しなければならなかったもので、7-Elevenのような24時間営業のキオスクは、バーが閉まった後にアルコールを購入する顧客の長い列ができました。人々は自分で夜間営業のお店でアルコール飲料を入手し、夜遅くまでパーティーを実行し続けることができました。しかし、10月26日以降から、スーパーやキオスクでアルコール飲料を22時以降購入することはできなくなります。

③ 集会人数が10人に引き下げられます

集会等に人数制限が50人から10人に引き下げられます。例外として、子供や若者向けのスポーツ活動や屋外葬儀には50人の上限が適用されます。また、ステージ、スクリーンなどの方向に座って1mの間隔が取れば、コンサートや会議に最大500人が集まることが可能です。プロのスポーツでは、最大500人の観客が着席可能です。教会や他の宗教的会衆での礼拝についても同じことが言えます。

④ 人との交流・出会いも10人迄

政府はすでに、他の人々との社会的交流を可能な限り制限するように努めることを推奨しています。そして、人が出会う人々の数を制限することを求め、一般的に、自分の家族以外の人には10人を超えてはならないとしています。職場、学校、レジャー活動、または家庭で自然に出会う人々は、10人の範囲には数えられません。メッテ・フレデリクセン首相は、非常に煩わしい規制ですが、一定期間、社会的接触を制限する必要があることを強調しています。政府の優先事項は、企業、職場、学校、教育、デイケアセンター、商店を開いたままにすることです。

⑤ 感染拡大の悲しい記録更新

コロナ陽性者数は、さらに急激に増加し続けています。10/29は、covid-19の感染者は760人と最も多い件数となりました。パンデミック中のデンマークの死者の総数は697人になりました。現在125人が入院してお

り、そのうち18人が集中治療室、13人が呼吸器を装着しています。

⑥ 公共交通機関のマスク着用義務は続く

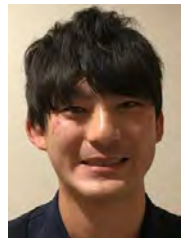
公共交通機関でのマスク着用義務は8月22日から導入されましたが、ベニー・エンゲルブレヒト運輸大臣は、「少なくとも、年内そしておそらくもっと長く続くでしょう」と発表。すべてのタイプの公共交通機関、駅、プラットフォームでマスクまたはバイザーを着用することが義務付けられていますが、12歳までの子供、呼吸困難の病気等がある人などは除外されます。市民はラッシュアワーを避けて移動するか、可能であれば自転車に乗ることを勧められます。運輸大臣は、可能な限り、今年のクリスマス年末年始の移動には公共交通手段を避けるとともに、自粛を勧めました。

新入職員紹介

あんず訪問看護ステーション 理学療法士・平 将一

10月より入職しました。幸樹会に入職する前は総合病院に勤務しており、主に急性期から回復期の患者さんへのリハビリを行っていました。

訪問看護、看多機と初めての経験であり、日々勉強させて頂いております。ご利用中の皆様からも色々と学ばせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



八柱学習会

●前回報告 10月16日(金)、助言者：武井幸穂氏
「2020年度介護報酬改定について」報告・中野三代子
参加者19名。厚労省介護保険給付費分科会の基本的な視点(案)を読み、検討しました。

▼次回学習会予定(「定例日：毎月第3金曜日」)

11月20日(金) 18:30～、あつまーれ幸樹
「地域ケアの変遷と未来-1975～2020の時代体験と実践から語る①」お話・武井幸穂氏 **《参加自由》**

みんなで屋上プランター庭園・菜園づくり



今月の屋上太陽光発電量は、

737 KWh



幸樹会館電力使用量 4360KWh 自給率 16.90%